

令和3年度 第3回 大阪府立島本高等学校 学校運営協議会 議事録

○委員構成（敬称略）

向井 秀幸（短期大学講師）、三上 裕貴（地元中学校首席）

花田 純子（地元民生委員児童委員協議会委員）、石橋 孝之（地元中学校教頭）

織 晃久（本校同窓会副会長）、山縣 薫（本校PTA会長）

伊藤 慎司（本校校長）、藤井 貴英（本校教頭）、田上 一文（本校教頭）

瀧澤 昭友（本校事務長）、佐々木 哉司（本校首席）、札木 理（本校首席）

○日時：令和4年1月28日（金）15：10～

○場所：会議室

○出席者（敬称略）

向井 秀幸、三上 裕貴、花田 純子、織 晃久、伊藤 慎司、藤井 貴英、

田上 一文、瀧澤 昭友、佐々木 哉司、札木 理

松本 剛（島本町立第二中学校長、オブザーバー参加）

（記録）河渕 康宏、平井 由紀

1. 会長挨拶

2. 校長挨拶

3. 議案

(1) 学校見学について

【ご意見等】

・クラスの数が減ったということもあるのか、活気は減ったという印象。少人数でやってきたこともあり、子どもたちは落ち着いて学業に励んでいた。

・机間巡視の中で「これでいいよ」といった些細なコミュニケーションが「これでいいんだ」といった自信につながることもある。少人数の中で、そのようなコミュニケーションをとっていくことこそが島本高校の強みになるのではないか。

・昔は騒がしい面もあったが、「わからへん」と活発に言えていた生徒がいた。少人数でおとなしい中で「わからへん」と言えない生徒の声がおきざりにならないよう配慮していく必要があるのではないか。

(2) 令和3年度進路状況について

札幌首席より説明

「この子に任せます」という保護者が気になっている。そのような保護者との連携が課題と考えている。うまく巻き込んでいながら将来像をともに考えていきたい。

就職については12年連続100%内定している。

【質問】 保育専門コースについてはどの程度ですか。ピアノなどとても丁寧に指導していたので、どのような進路につながっているのか知りたい。

【回答】 保育系に進学するのは38%程度。

【ご意見等】

- ・ 保育専門コースとして積み上げてきたこともあるため、それをぜひとも進路につなげていただきたいと考えている。

(3) 令和3年度生徒指導状況について

札幌首席より説明

生徒数が大幅に減っているため例年との比較ができないため、資料の準備はしていない。特に制服について言及させていただくと、制服にマイナーチェンジをしていくことでスカート丈を変更しにくい形状にしたことで、大幅に荒れることなく指導ができていのではないかと考えている。

【ご意見等】

- ・ 授業見学の際にも「さようなら」と言ってくれた生徒がいて、気持ちよかった。特に制服が乱れているという印象もなかった。

(4) 令和3年度第2回授業アンケートについて

田上教頭より説明

プロジェクターやスクリーンの設置を勧めたことで、授業に対する生徒の評価が上昇した。環境の整備が影響したのではないかと考える。前期と後期を比べると、少し後期の方が下がる傾向は例年通りだった。ICT機器については、後期の授業見学で積極的に取り入れるなど、教員側の意識も向上していると感じている。

【ご意見等】

- ・ ICTについては、教員も生徒も慣れていくことで、よりその良さを活用していけるのではないかと考える。

(5) 令和3年度学校教育自己診断について

田上教頭より説明

「良いか悪いかわからない項目については答えなくてもよい」という説明があったため、「わからない」と答えた割合が例年より減った。その分、「良い」「悪い」ともに例年よりも増える傾向が見られた。

人権教育について評価が上がった。3カ年見通した人権教育の成果が現れたものと考えている。

プライバシーに関する点も評価が上がった。行事について、コロナ禍の中でできる限り代替え行事を企画し、生徒たちも楽しめたと思う。

プロジェクター環境の整備なども影響しているのか、学校施設・設備の評価なども向上している。

低いものとしては、家庭学習についてと部活動についてがあげられる。

生徒と保護者との評価が乖離しているものについては、生徒会活動について項目である。

教員のアンケートについては、グーグルフォームを取り入れたことから回収率が下がってしまった。

人権、ICT機器の導入についてはカウンセリングマインド、生徒指導についての肯定的意見が多くなった。部活動指導については低下した。

【質問】 アンケートの回収率が下がった理由については、グーグルフォームの使い方がわからなかったということではないですか？

【回答】 改善策の一つとして、グーグルフォームとクラスルームと両方で「提出」をクリックしなければいけないことを徹底したい。

【質問】 部活動について、今のコロナ禍の状況もあり、今年度は伸びなかったのかなと思う。一方で、学校や社会のルールについて学ぶ機会があるという値が伸びている。中学校では、部活の中でルールを教えていく側面があるが、今回のこの傾向は、こういったものが要因となったのか

【回答】 コロナ禍ならではのルールの徹底などが影響したことも考えられる。

(6) 令和3年度学校評価(案)について

校長より説明

まだ途中段階ではあるが、◎○△で評価をさせていただいている。

質疑応答なし

(7) 令和4年度学校経営計画(案)について

校長より説明

生徒数が減っていることから、保育専門コース単独クラスを作ることは削除した。また、新学習指導要領について次年度から開始することから、校内で準備のための取り組みをすることについてあえてここには記載していない。

総合的な学習の時間で実施していた「島本探求」という内容は、コロナ禍の中で実施が困難なことから削除した。

総合型地域スポーツクラブとの連携については保留とさせていただいている。

【質問】 保育専門コースの希望者はどれくらいか。

【回答】 現在進路希望調査による結果は69名であった。その中で40人が保育専門コースを希望するというのは現実的ではない。

【質問】 単独でクラスが組めない中で、どのように保育の授業を進めて行く予定か。

【回答】 混合クラスを作るが、授業については分割して学びの保証をしていく予定である。

【質問】 すべての運動部が外部に委ねていく方向性になっているのか。

【回答】 教員の負担軽減などの観点がスタートとなり、地域との連携を模索している段階である。

(8) その他

特になし

(9) 質疑応答及び意見交換

特になし